

## 第43期通常総代会

常務理事 笹川 義晴

新潟県税理士協同組合第43期通常総代会は、6月24日、ホテルニューオータニ長岡において開催された。

総代会は、開会の言葉で始まり、物故組合員13名に対し黙祷を捧げ、その後来賓紹介があり、次いで田村理事長のあいさつが行われた。

田村理事長は当期の組合事業の概況の中で、「サブプライムローン問題等に端を発した9月のリーマンショックの影響による世界経済大不況時での全税共キャンペーン活動となるなど、厳しい経済状況の中での組合活動となりましたが、保険事業の代理店化における裾野の拡大、教育情報事業等の拡大を行うとともに、組合事業の整理、効率化に努めた結果、組合員皆様のご支援ご協力により今期決算は事務局の改装等があったにもかかわらず、税引前利益7百3万円を計上することが出来た」と語り、参加者各位に対しお礼を述べた。

続いて、定足数の報告があり総代会成立宣言があった後、議長選出が諮られ、議長に藤森克己総代が就任し、議事に入った。

第1号議案 第43期事業報告及び財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分（案）の承認を求める件

第2号議案 組合賦課金に関する件

第3号議案 役員報酬に関する件

第4号議案 第44期事業計画及び収支予算書（見積損益計算書）（案）の議決を求める件

第5号議案 借入金最高限度額の議決を求める件

第6号議案 組合員に対する貸付金最高限度額の議決を求める件

第7号議案 定款及び規約並びに規定の一部改正の議決を求める件

第8号議案 任期満了に伴う役員改選に関する件  
以上、各議案とも執行部から提案理由の説明の後採決され、それぞれ賛成多数で承認可決された。

来賓の祝辞は、関東信越税理士協同組合連合会吉澤副理事長と税理士会県連・高橋会長からいただき、続いて祝電多数が披露された。

暫時休憩の間に別室において、第1回理事会を開催し、五十嵐秀夫理事長を選出し、その他の新役員の選任も承認され、総代会において新役員が紹介され、五十嵐新理事長の就任のあいさつが行われた後、閉会のあいさつがあり総代会は終了した。

引き続き、同会場において、あんしん財団表彰式が行われ、47名の年間表彰者と7つの目標達成地域が表彰された。

会場を移し、生保11社、関連企業4社の幹部を迎えて、懇親会が開かれた。新役員の紹介及び来賓各位の紹介があり、来賓の(株)日税ビジネスサービス・鎌谷修司常務執行役員より祝辞をいただき、高橋税理士会県連会長の田村執行部への慰労と、五十嵐新執行部への激励で乾杯となり、来賓、組合員の歓談が続く中で、有意義な全日程が終了した。



第43期貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	45,281	I 流動負債	12,158
		負債の部計	12,158
II 固定資産		I 出資金	28,725
1. 有形固定資産	68,987	II 資本準備金	5
2. 無形固定資産	208	III 利益剰余金	79,963
3. 外部出資その他の資産	6,374	1. 利益準備金	29,505
固定資産計	75,570	2. 特別積立金	42,240
		3. 当期末処分剰余金	8,218
		(当期純利益金額)	( 4,109)
		純資産の部合計	108,693
合計	120,852	合計	120,852

第43期損益計算書

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

(単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
I 事業費		I 事業収益	
1. 購販事業費用	5,051	1. 購販事業収益	12,305
2. 福利厚生事業費用	7,996	2. 福利厚生事業収益	22,639
3. 全税共事業費用	9,691	3. 全税共事業収益	32,334
4. 信用事業費用	0	4. 信用事業収益	129
5. 教育情報事業費用	11,119	5. 教育情報事業収益	6,441
6. 地域事業費用	5,820	6. その他事業収益	11,220
事業費用計	39,680	事業収益計	85,069
事業総利益金額	( 45,389)		
II 一般管理費	38,482	II 事業外収益	282
III 特別損失	357	III 特別利益	200
税引前当期純利益金額	( 7,032)		
法人税等	2,923		
当期純利益金額	4,109		
合計	85,552	合計	85,552

剰余金処分書

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

(単位：千円)

I. 当期末処分剰余金			
当期純利益金額	4,109		
前期繰越剰余金	4,109		8,218
II. 組合積立金取崩額			780
III. 剰余金処分額			
特別積立金	500		
教育情報費用繰越金	1,000		1,500
IV. 次期繰越剰余金			7,498

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 役員名簿（平成21・22年度）

役職名	氏名
理事長	五十嵐 秀夫（新潟地域）
副理事長	西片 多門（長岡地域）
	竹内 達夫（新潟地域）
専務理事	古川 和夫（長岡地域）
	大野 拓朗（新潟地域）
	関根 朝秋（三条地域）
常務理事	和泉 昭夫（高田地域）
	永野 道雄（新潟地域）
	杵 渕 一夫（小千谷地域）
	成田 俊郎（新潟地域）
	笹川 義晴（高田地域）
	田中 由起子（三条地域）
	角谷 潔（新潟地域）
	笠輪 浩（長岡地域）
理事	白井 光則（長岡地域）
	小林 康成（新潟地域）
	松田 聡（新潟地域長）
	大矢 隆治（長岡地域長）
	田辺 修（三条地域長）
	土田 茂（柏崎地域長）

役職名	氏名	
理事	安城 栄三郎（新発田地域長）	
	五十嵐 隆（新潟地域長）	
	真嶋 静雄（小千谷地域長）	
	田口 泉（十日町地域長）	
	村山 誠（村上地域長）	
	加藤 輝守（糸魚川地域長）	
	横田 晃一（高田地域長）	
	北村 啓一（巻地域長）	
	真島 一誠（巻地域）	
	江口 政雄（佐渡地域長）	
	笹川 賢治（高田地域）	
	顧問	富川 四郎（新潟地域）
		内山 郡一（長岡地域）
		中川 清（新潟地域）
田中 重（長岡地域）		
監事	田村 秀男（長岡地域）	
	志賀 安雄（新潟地域）	
	依田 精一（三条地域）	
	山岸 博（糸魚川地域）	

## 業務分担表（平成21・22年度）

担当 部門	担当業務・事業	副理事長	専務理事	常務理事
総務・渉外	総務、地域、日本税協連・関税協、全税共、税理士会県連・支部、関連団体	竹内 達夫	大野 拓朗	永野 道雄
経理	経理・税務（税務申告）	竹内 達夫	大野 拓朗	杵 渕 一夫
信用・金融	税理士ローン（第四・北越）、組合員への小口貸付、UCりそなカード、日立キャピタル・オートリース、トヨタカーリース、新潟中央ホーム	竹内 達夫	関根 朝秋	杵 渕 一夫
広報	会報	竹内 達夫	関根 朝秋	笹川 義晴
教育・情報	優良図書の配付、研修	竹内 達夫	和泉 昭夫	成田 俊郎
購販	参考図書の販売、税理士領収証・税理士用箋、税務代理権限証書等、税務手帳・税務日誌、税のしるべ・スタッフアドバイザー、日本税協連書籍ネット販売、ガソリン、税理士報酬自動振替制度、セコム上信越	竹内 達夫	和泉 昭夫	成田 俊郎
保険	経営者保障、（関税協総合事業保障プラン・総合グループ保障）	西片 多門	大野 拓朗 関根 朝秋	田中由起子
全税共	全税共の税理士代理店（Z1・Z2）	西片 多門	和泉 昭夫	笠輪 浩
	全税共の保険（VIP、年金等）	西片 多門	和泉 昭夫	角谷 潔
福利厚生	日本税協連生命共済、関税協退職金共済、あんしん財団共済、アークベルグループ共済、全税共所得補償保険、組合員弔慰金、親善ゴルフ大会、小規模企業共済及び中小企業倒産防止、共済（セーフティ共済）	西片 多門	和泉 昭夫	白井 光則
事務局		竹内 達夫 西片 多門	大野 拓朗 関根 朝秋	

## 創立35周年記念 全税共業務推進協議会

常務理事 角谷 潔

平成21年8月6日（木）チサンホテル&コンファレンスセンター新潟において、藤沼全税共関信地区会会長、古川新潟県連副会長外のご来賓を迎え、全税共第24回VIP、年金全国统一キャンペーン（平成21年9月～11月）業務推進協議会が大野専務理事の司会のもと開催されました。出席者は、保険会社13社の支社長はじめ担当者計23名、来賓3名、協同組合からは、理事長以下45名、合計71名の出席がありました。

冒頭五十嵐新理事長から「昨年は保険の募集環境の厳しい中141名の入賞者数を挙げていただきありがとうございます。今年も多くの入賞者を出していただき楽しい表彰パーティーにしたい。」との謝意が述べられました。また「税理士もクライアントの保険の中身を考えるのも大切なことである。」と自身がクライアントの更新年齢が上がった時に、保険料負担の増加を回避するために死亡保障を減らして入院保障を増やした事例についての話がありました。

会議はまず現在の保険料収入状況の説明が（株）日税ビジネスサービスの森田部長代理よりあり、その概要は以下の通りです。

### 新潟県税理士協同組合

①新規契約保険料 （月換算）	3,247万円 （前年比102%）
②直近月振替保険料 （21年6月）	15,524万円 （前年比110%）
③保険収納手数料年額 （20年4月～21年3月）	26,844千円 （前年比110%）
④直近収納手数料月額 （21年6月）	2,162千円 （前年比114%）

次に、今年もこれから新潟県各13地域において業務推進会議が開催される予定であるため各地域長より日時、場所、概要等の発表がありました。各地域

においては新たに選任された地域長を中心に保険会社の機関長、職員等と密着した形で行われることを期待しております。

前年の第23回VIPキャンペーンの入賞者数は141名（第22回は105名）でありましたが、これを踏まえて、次に各生命保険会社の支社長及び幹部職員の方々から今年のキャンペーンに対する決意表明がなされました。その結果は前年を大巾に上回る入賞予定者数となりました。

次にご来賓の、藤沼全税共関信地区会会長から「税理士をとりまく100年に1度の厳しい環境の中昨年の成績を上回るよう協力をお願いしたい。収納保険料が昨年の12月から減っていますが、全税共の3つの理念（関与先の繁栄に貢献する、提携企業と共栄する、税理士業界の発展に寄与する）を理解しておこなっていただきたい」との挨拶がありました。

最後に生命保険各社を代表して幹事会社の笹岡朝日生命本社業務部長より「経済環境、募集環境が厳しい中、生命保険会社と税理士とがしっかりとスクラムを組むことによって伸ばすことができる、3つの基本理念に返って一生懸命頑張りたいと思う。」との幹事会社としての挨拶があり閉会しました。

ご承知のとおり税理士会と税理士協同組合は車の両輪を成して税理士業界を支えております。是非とも皆様方のご協力をお願いいたします。

終わりに「全税共保険紹介カード」を作成しました。成約1件につき5,000円、不成約の場合でも3,000円を紹介カードを提出した組合員に進呈します。紹介カードのご利用よろしく申し上げます。

（用紙は会報に同封）

## 全税共関東信越地区会 業務推進協議会の開催 副理事長 西片 多門

今年の全税共関東信越地区会が7月7日、全税共・関税協役員他に提携生保の担当者を加え総勢77名の出席により、栃木県那須塩原市のホテルエピナール那須にて開催されました。本県からは田中重・田村秀男両関税協副理事長、高橋潔県連会長、五十嵐秀夫県税協理事長、大野拓朗県税協専務理事・角谷潔県税協常務理事それに大野君子県税協事務局長と私、西片という総勢7名の参加者でした。

協議会では五十嵐理事長が新潟県における全税共提携生保との取り組みを説明、続いて角谷全税共担当常務が各地域における業推の取り組みにつき説明したところ、場内は大きな感銘を受けた様子でした。

### 報告・協議事項等

- 1 第23回全国統一キャンペーン表彰式等実施状況について
- 2 全税共創立35周年記念 第24回全国統一キャンペーンについて
  - ① 全国統一キャンペーン実施要領について
  - ② キャンペーンの施策・抱負について
  - ③ 第24回全国統一キャンペーンにおける提携生保会社の推進方策等について
  - ④ 意見交換

推進会議終了後の懇親会では銘酒と肴。2次会3次会へと不夜城の様を呈しておりましたが、それでも那須高原の七夕の夜は更けていきます。

翌朝雨交じりの中、西那須野C.C.へ慌しくゴルフ組が向かうとき、那須ガーデンアウトレット組は朝靄を眺め、恰も時が止まってし

まったかのような優雅な朝食のひと時を過ごしておりました。移動中には天候も回復しゴルフ組の健闘を祈りながら道中の看板が茶色に統一されている事等々説明を受けたものです。成績はと言いますと宵越しの金とスコアーは持って帰らないとの言葉が返ってきました。どうも皆さん栃木に置いてきたようです。

アウトレットは軽井沢のそれと比べた場合店舗数ではそれ程変わりはないのですが、レイアウトがまとまっており回るのには楽でした。駐車場では越後交通のバスを見かけ新潟からの買い物客がいることを知る一方、新潟県にもこのような商業設備が有り、全国からの集客が有ればと考えさせられました。

終わりに毎年のことですが、キャンペーン期間中、県下13地域における業推会議が行われることになっております。業推会議自体、各地域での会員皆様の交流の場とならんことを、加えて全税共扱いの保険勧誘がスムーズにいきますことをお願いいたします。



## 北海道旅行に参加して

糸魚川支部 梅澤 清行

窓の外はうす曇り、今にも雨が降り出しそうな空模様である。ホテルからバスに乗り目的地へ、目を閉じると地獄谷（直径約450mの爆裂火口跡から毎分3000ℓの温泉を湧出する）の風景がよみがえる。そこから徒歩10分、硫黄の香りがたちこめる登別温泉に宿泊し湯に浸って骨休め、北海道美人のお酌で頂いたお酒が五臓六腑にしみわたる。バスは約40分で今日の戦いのコース、ニドムクラシック（男子プロの大会が開催された北海道でも屈指の難コース）の玄関前に到着した。今日一日天気を持てばなあ〜と淡い期待を抱きバスから降りる。とたんにザーと大粒の激しい雨、気持ちが一変に萎えてしまう。急に降り出した雨にキャディもフロントも混乱している。当然のこと初めて来た私たちもスタートホールが分らず混乱する。雨の降りしきる中カートで5分、ようやく1番ティーに辿り着く、さすが北海道は広い！しかし練習グリーンが見当たらない、準備無しでのスタートである。1組目の4人のボールは右へ左へ旅鳥。幸い自分は3組目のスタート、ストレッチで身体を解す、ティーはレギュラーを使用する、スコアカードに6,593ヤード、距離の長さにちょっと唖然、ここのレギュラーティーは私のホームコース糸魚川CCのバックティーと同じ長さである。昨日新潟空港のミーティングで、80以上は叩かない旨の宣言をし、気持ち良くワインを頂いた自分を思い出す。かなりのプレッシャーを抱えスタートした。ティーショットは右の林の中、スライスボールでフェアウエーへ狙ったが、スライスがかからず左のラフへ、ラフは10センチくらい伸びており、ボールは中に沈んでいる。ロングホールの第3打、170ヤードを6番アイアンで打ったがグリーンに届かずボギースタート、先が思いやられる。次のホールも林に曲げたが何とかパーを拾い、気持ちが落ち着く。ハーフを終えてみると、1バーディ3ボギーの38上々の出来である。中盤から雨も上がり後半のピリカコースへ、ピリカコースは前般のカムイコースと違いアップダウンの激しいコース、特に5番のロングホール536ヤードは圧巻であった。第1打は100ヤードの打ち下ろし、その右手前から左へクリークが流れ左サ

イド一杯に池が切り込んでいる。第2打はその池越えショット、最低130ヤードのキャリーが必要とされる。よって池の右サイド80ヤード以内にボールを運ばなければならない。池はさらに奥へと続き左に折れて、フェアウェイとグリーンを切断している。2打では直接グリーンを狙えない。全てのショットに正確性を要求されるスリリングで、難易度の高いS字ホールである。私はナイスショットの連続で、パーを取ることが出来た。しかし同伴の先生方は大変苦戦を強いられていた。ピリカコースも41で上がりトータル79回、安堵の想いでクラブハウスへ。ラウンド直後の風呂上りに頂いたサッポロ生ビールがとっても美味しく、さらに成績は、目標にしていたベストグロス賞と優勝のおまけ付き、その喜びのスピーチに浸っている自分に満足々。また田村理事長から「おめでとう」と声をかけて頂き、注いで頂いたワインが、なお一層美味しく感じた。

ニドムを後に札幌後楽園ホテルへ、夕食に細面の素敵なお方から酌を受け、三度の感激——二次会は薄野へ、あまりの感激にホテルへ帰りバタンキュー。朝5時半携帯の音が鳴り響く、朝市へのお誘いメール。そう言えば昨日の夕食会で田中先生と約束を、眠い目をこすりながら、五十嵐丸山田中横山先生方と二条市場へ向かう、先生方の買い物姿を横目で見ながら、夕張メロンを試食する。口一杯にメロンの果汁が広がり、疲れた胃袋が心地よい。しかし、試食するだけで何も買えない自分の姿が情けない。次に朝食の時間、市場の中にある「○○食堂」（食堂の名前を忘れました）で食べたウニ丼がこれまた絶品、大満足でホテルへ帰る。その後、白い恋人パークでチョコレート工場を見学し、ホワイトチョコレートをドリンクで頂きノーザンホースパークへ、競走馬の牧場内でバーベキュー、お腹一杯にして千歳空港へ向う。

温泉とゴルフで2キロ痩せ、お酒と食事とチョコレートで4キロ太って新潟空港へ、大変贅沢で楽しい北海道旅行でした。一緒に参加された新潟県下の先生方に、大変お世話になったことを感謝申し上げ、終わります。